

安全データシート

改訂日:2022年6月10日

1. 製品及び会社情報

化学品の名称 2-ジメチルアミノエタノール
 会社名 米山薬品工業株式会社
 住所 大阪市中央区道修町2丁目3番11号
 電話番号 (06)6231-3555(大阪・本社)
 (03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)
 (052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
 整理番号 CB1252

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類
 物理化学的危険性 引火性液体:区分3
 健康に対する有害性 急性毒性(吸入:蒸気):区分3
 皮膚腐食性及び皮膚刺激性:区分1
 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性:区分1
 皮膚感作性:区分1
 特定標的臓器毒性(反復ばく露):区分2(呼吸器)
 水生環境有害性(急性):区分3

環境に対する有害性
 GHSラベル要素
 絵表示又はシンボル



注意喚起語
 危険有害性情報

危険
 引火性液体及び蒸気
 吸入すると有毒
 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
 重篤な眼の損傷
 アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ
 長期又は反復ばく露による呼吸器の障害のおそれ
 水生生物に有害

注意書き

【安全対策】
 熱、火花、裸火のような着火源から遠ざけること。一禁煙。
 容器を密閉しておくこと。
 火花を発生させない工具を使用すること。
 静電的に敏感な物質を積みなおす場合は、容器及び受器を接地、結合すること。
 防爆型の電気機器、換気装置、照明機器等を使用すること。静電気放電に対する予防措置を講ずること。
 取扱い後はよく手を洗うこと。
 ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
 適切な保護手袋、保護衣を着用すること。
 適切な保護眼鏡、保護面を着用すること。
 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
 環境への放出を避けること。
 【応急措置】
 皮膚又は毛に付着した場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ又は取り除くこと。皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。
 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
 火災の場合には適切な消火方法をとること。
 汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
 吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 吸入した場合、医師に連絡すること。
 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
 皮膚に付着した場合、眼に入った場合、飲み込んだ場合、吸入した場合は、直ちに医師に連絡すること。
 皮膚に付着した場合、皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。
 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
 【保管】
 容器を密閉して涼しく換気の良い場所で施錠して保管すること。
 【廃棄】

内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業に依頼して廃棄すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別	化学物質
化学名又は一般名	2-ジメチルアミノエタノール
慣用名又は別名	N,N-ジメチルエタノールアミン
化学式	(CH ₃) ₂ NCH ₂ CH ₂ OH
化学物質を特定できる一般的な番号	CAS RN: 108-01-0
濃度又は濃度範囲	97%以上
官報公示整理番号(化審法・安衛法)	(2)-297 / 公表

4. 応急措置

吸入した場合	被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 直ちに医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、又は取り去ること。 水と石鹼で十分に洗うこと。 皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 直ちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 直ちに医師に連絡すること。
予測できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状	吸入：咳、咽頭痛、灼熱感、息苦しさ。症状は遅れて現われることがある。 皮膚：発赤、痛み皮膚熱傷。 眼：発赤、痛み、重度の熱傷。 経口摂取：腹痛、吐き気、嘔吐、ショック/虚脱、灼熱感。
応急処置をするものの保護 医師に対する特別な注意事項	救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。 肺水腫の症状は2～3時間経過するまで現われない場合が多く、安静を保たないと悪化する。したがって、安静と経過観察が不可欠である。 医師または医師が認定した者による適切な吸入療法の迅速な施行を検討する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
使ってはならない消火剤	棒状注水、水噴霧
火災時の特有の危険有害性	極めて燃え易い、熱、火花、火炎で容易に発火する。 消火後再び発火するおそれがある。 火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 容器が熱に晒されているときは、移さない。 安全に対処できるならば着火源を除去すること。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	全ての着火源を取り除く。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。 密閉された場所に立入る前に換気する。 作業の際には適切な保護具を着用し風上から作業して、風下の人を退避させる。
環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化の方法及び機材	環境中に放出してはならない。 不活性材料(例えば、乾燥砂又は土等)で流出物を吸収して、化学品廃棄容器に入れる。 危険でなければ漏れを止める。 すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策	取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置する。 取り扱い場所には防爆タイプの全体換気装置、局所排気装置を設置する。
安全取扱い注意事項	漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させないこと。 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。 吸い込んだり、目、皮膚および衣類に触れないように、適切な保護具を着用すること。 熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。 火花を発生させない工具を使用すること。

接触回避 衛生対策	屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。 ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。 皮膚と接触しないこと。 眼に入れないこと。 火気、混触危険物質 取扱い後はよく手を洗うこと。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
保管 安全な保管条件	強酸化剤から離しておくこと。 酸から離しておくこと。 熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。ー禁煙。 容器を密閉して換気の良い冷所で保管すること。 施錠して保管すること。
安全な容器包装材料	各法規制で規定されている容器を使用する。(ガラス、スチール等)
8. 暴露防止及び保護措置	
許容濃度	
管理濃度	未設定
日本産業衛生学会	未設定
ACGIH	未設定
設備対策	この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 作業場には防爆タイプの全体換気装置、局所排気装置を設置すること。
保護具	
呼吸器の保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具	適切な保護眼鏡を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用すること。
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	液体
色	無色
臭い	刺激臭(アミン臭)
融点/凝固点	-59°C
沸点又は初留点及び沸騰範囲	135°C (735mmHg)
可燃性	可燃性
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	1.6~11.9vol%
引火点	41°C
自然発火温度	220°C
分解温度	該当情報なし
pH	10.5~11(20°C, 100g/L)
動粘性率	(粘性率) 3.58mPa·s(21.6°C)
溶解度	水、アルコール、エーテルと混和する
n-オクタノール/水分分配係数	log Pow = -0.58
蒸気圧	3.18mmHg(25°C)
密度及び/又は相対密度	0.89g/cm ³ (20°C)
相対ガス密度	3.1
粒子特性	該当情報なし
10. 安定性及び反応性	
反応性、化学的安定性 危険有害反応可能性	通常取り扱いに於て安定。 この蒸気は空気より重い。 燃焼すると分解し、窒素酸化物を含む有毒な気体を生じる。 中程度の強さの塩基である。 酸、酸塩化物、酸化剤、イソシアン酸と激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす。 銅、銅合金を侵す。 38°C以上で蒸気/空気の爆発性混合気体を生じることがある。 硝酸セルロースと接触して発火の可能性がある。
避けるべき条件	燃焼、38°C以上の加熱
混触危険物質	酸、酸塩化物、酸化剤、イソシアン酸、銅、銅合金、硝酸セルロース
危険有害な分解生成物	窒素酸化物を含む有害な気体
11. 有害性情報	
急性毒性	経口: ラットLD ₅₀ 値は1242-1597, 1803, 2000-2170, 2130, 2340 mg/kgであり(IUCLID, 2000)、報告数から区分外(国連分類では区分5)とした。 経皮: ウサギLD ₅₀ 値は1685 - 2368, 3135 mg/kgであり(IUCLID, 2000)、報告数から区分外(国連分類では区分5)とした。 吸入(蒸気): ラットのLC ₅₀ 値が ¹ 1641ppm/4h(6mg/L)であり(IUCLID, 2000)、飽和蒸気圧が ¹ 15.2mg/Lであることから蒸気の区分により、区分3とした。

皮膚腐食性/刺激性	ウサギを用いたGLP試験で腐食性である(IUCLID, 2000)ため区分1とした。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	ウサギを用いた試験で強度の刺激性があり(IUCLID, 2000)、皮膚腐食性もあることから区分1とした。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器: 該当情報なし 皮膚: マウス局所リンパ節試験で0, 3, 10, 30 % (wt/vol) 群のスコアがそれぞれ0, 1.93, 2.13, 14.50であり、3以上は陽性(IUCLID 2000)であることから区分1とした。
生殖細胞変異原性 発がん性	体細胞 in vivo (小核試験)で陰性(IUCLID, 2000)であり区分外とした。 雌マウスを用いた飲水試験があるが、動物数の記載が無く、要旨だけで(IUCLID, 2000)分類には不十分である。
生殖毒性	3つの妊娠期の動物試験で体重の増加抑制以外の影響が見られていない(Teratogenic 12th, 2007, IUCLID, 2000)が、親の生殖能力への影響が不明であるため分類できない。
特定標的臓器毒性(単回暴露)	該当情報なし
特定標的臓器毒性(反復暴露)	ラット13週間吸入試験で、76ppm (0.28mg/L)で呼吸器に病理組織学的変化がみられている(IUCLID, 2000)ことから区分2(呼吸器)とした。
誤えん有害性	該当情報なし。
12. 環境影響情報	
生態毒性	短期: 藻類(セネデスムス)の72時間EC ₅₀ = 35 mg/L (IUCLID, 2000)から、区分3(急性)とした。 長期: 急性毒性区分3であるが、急速分解性があり(BODによる分解度: 60.5%、(慢性) TOC: 97.9%、GC: 100%(既存点検, 1977))、かつ生物蓄積性が低いと推定される(log Kow= -0.94 (PHYSPROP Database, 2008))ことから、区分外と
残留性・分解性	良分解性
生体蓄積性	生物蓄積性が低いと推定される。
土壌中の移動性	該当情報なし。
オゾン層への有害性	当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。
13. 廃棄上の注意	
化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
14. 輸送上の注意	
国連番号	2051
品名(国連輸送名)	2-ジメチルアミノエタノール
国連分類	8
副次危険性	3
容器等級	II
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。 重量物を上積みしない。
国内規制	
陸上輸送	消防法の規制に従う。
海上輸送	船舶安全法の規制に従う。
航空輸送	航空法の規制に従う。
応急措置指針番号	132
15. 適用法令	
化学物質管理促進法(PRTR法)	指定化学物質に該当しない。
毒物及び劇物取締法	劇物(第2条別表第2)[2-(ジメチルアミノ)エタノール]
消防法	危険物第4類第2石油類水溶性液体(第2条第7項危険物別表第1)
労働安全衛生法	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物[2-ジメチルアミノエタノール][施行令別表9] (2025年(令和7年4月1日)以降) 危険性又は有害性を調査すべき物[2-ジメチルアミノエタノール] (2025年(令和7年4月1日)以降) 危険物・引火性の物(施行令別表1)
海洋汚染防止法	有害液体物質(Y類物質)(施行令別表1)
船舶安全法	腐食性物質(危規則第3条・危険物告示別表第1)
航空法	腐食性物質(施行規則第194条・告示別表第1)
16. その他の情報	
参考文献	NITE-CHRIP(製品評価技術基盤機構HP)

16615の化学商品(化学工業日報社)
職場のあんぜんサイト(厚労省HP)
NITE-GHS分類結果(製品評価技術基盤機構HP)
国際化学物質安全性カード(国立医薬品食品衛生研究所HP)
Merck Index 14th

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。